

中期経営計画期間を通じ、業績は回復拡大局面へ

－ 産業機械事業は12.3期より回復

素形材・エネルギー事業は13.3期より本格的拡大へ－

初年度である11.3期は業績見通しを上方修正

2010年11月19日

株式会社日本製鋼所

代表取締役社長 佐藤 育男

ご注意

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料では、2011年3月期第2四半期累計期間を「中間期」と表記しております。

目次

P2	目次	P11	(8) セグメント別受注高の状況
P3	2011年3月期第2四半期累計期間(中間期) 実績及び通期予想	P12	(9) 素形材・エネルギー事業の業績:製品別受注高
P4	(1) 決算概要	P13	(10) 産業機械事業の業績:製品別受注高
P5	(2) 営業利益変動要因分析	P14	(11) セグメント別受注残高の状況
P6	(3) セグメント別売上高・営業利益の状況	P15	(12) 中計期間中の売上高推移
P7	(4) 素形材・エネルギー事業の業績:製品別売上高	P16	(13) 中計期間中の営業利益・当期純利益推移
P8	(5) 産業機械事業の業績:製品別売上高	P17	(14) 更なる成長へ
P9	(6) 財務体質の状況	P18	参考 セグメント変更の概要
P10	(7) 設備投資・減価償却費の推移	P19	参考 事業部門の構成と製品

2011年3月期第2四半期累計期間(中間期)実績及び通期予想

中計の初年度として

素形材・エネルギー事業：設備投資計画の遵守と生産量増大、生産効率化
12.3期、13.3期を見据えた受注活動強化

産業機械事業：原価低減活動による収益力強化
成長市場での受注活動強化

(1) 決算概要

(単位:億円)

	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
売上高	1,026	875	979	△ 47	104	2,016	2,080	2,220	204	140
営業利益 (率)	181 17.7%	95 10.9%	122 12.5%	△ 59	27	321 16.0%	255 12.3%	280 12.6%	△ 41	25
経常利益	180	90	127	△ 53	37	312	250	280	△ 32	30
純利益	101	45	72	△ 29	27	175	140	155	△ 20	15
1株当たり 純利益	27.41円	12.12円	19.52円	△7.89円	7.40円	47.22円	37.72円	41.76円	△5.46円	4.04円

11.3期中間期

【当初予想比】

- ・ 売上高は産業機械事業が増加し、104億円の増となった。
- ・ 営業利益は、27億円の増となった。

【前年同期比】

- ・ 売上高は、産業機械事業が増加したものの、素形材・エネルギー事業が減少したことから、47億円下回った。
- ・ 営業利益は、59億円の減となった。

11.3期通期予想

【当初予想比】

- ・ 売上高は、主に産業機械事業の増加により140億円増加と予想。
- ・ 営業利益は、25億円増加の見通し。

【前年同期比】

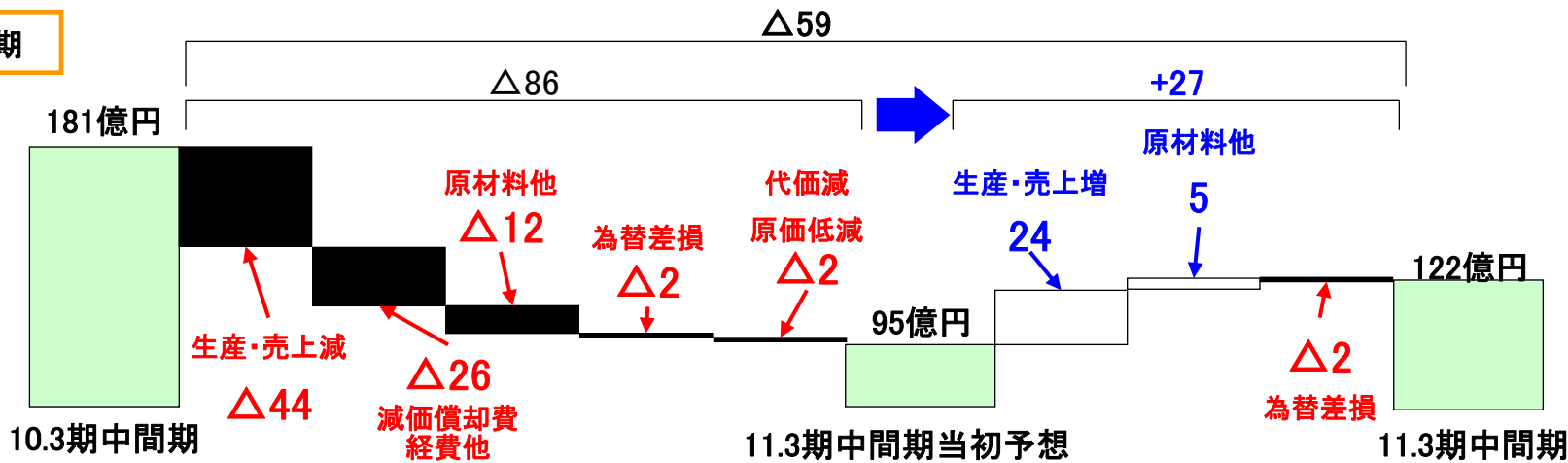
- ・ 売上高は、産業機械事業が大きく回復し、204億円の増と予想。
- ・ 営業利益は、41億円の減と予想。

【下期予想】

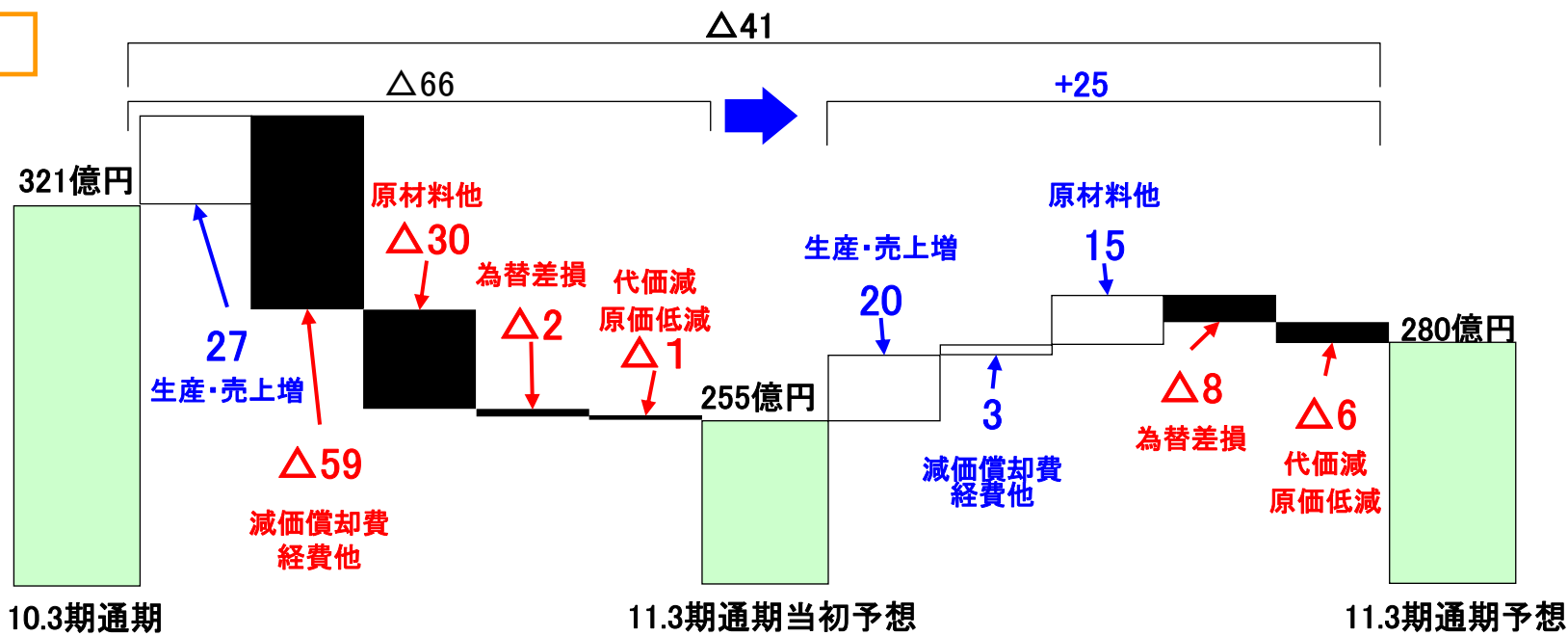
- ・ 売上高は、1,205億円の当初予想に対し、1,241億円を見込む。
- ・ 営業利益は、160億円の当初予想に対し、158億円を見込む。
- ・ 経常利益は、160億円の当初予想に対し、153億円を見込む。

(2) 営業利益変動要因分析

中間期



通期



(3) セグメント別売上高・営業利益の状況

(単位:億円)

		10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
			当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
素形材・ エネルギー事業	売上高	658	517	541	△ 117	24	1,219	1,211	1,220	1	9
	営業利益	177	104	118	△ 59	14	301	240	245	△ 56	5
	率	26.9%	20.1%	21.8%			24.7%	19.8%	20.1%		
産業機械事業	売上高	356	345	425	69	80	773	844	975	202	131
	営業利益	1	△ 5	7	6	12	13	12	31	18	19
	率	0.3%	-	1.6%			1.7%	1.4%	3.2%		

11.3期 中間期

【素形材・エネルギー】

- ・売上高は、前年同期比では大幅に減少したものの、豊富な受注残を順調に売り上げ、当初予想を上回った。
- ・営業利益は、売上減、減価償却負担増により前年同期を下回ったが、当初予想比増加。

【産業機械】

- ・売上高は、成形機の伸張により、前年同期、及び当初予想比増加した。
- ・営業利益は、売上増、及び操業の改善により前年同期、当初予想を上回った。

11.3期 通期予想

【素形材・エネルギー】

- ・売上高は概ね当初予想通りを想定。
- ・営業利益は、減価償却費増により前年同期を下回るものの、原材料価格が想定を下回り、当初予想を上回ると予想。

【産業機械】

- ・売上高は、成形機、樹脂製造・加工機械の受注回復により、前年同期、当初予想を大きく上回ると予想。
- ・下期の営業利益は、売上高が549億円と上期比123億円増加したことから、当初予想を上回る24億円、利益率は4.4%となる。

(4) 素形材・エネルギー事業の業績：製品別売上高

(単位：億円)

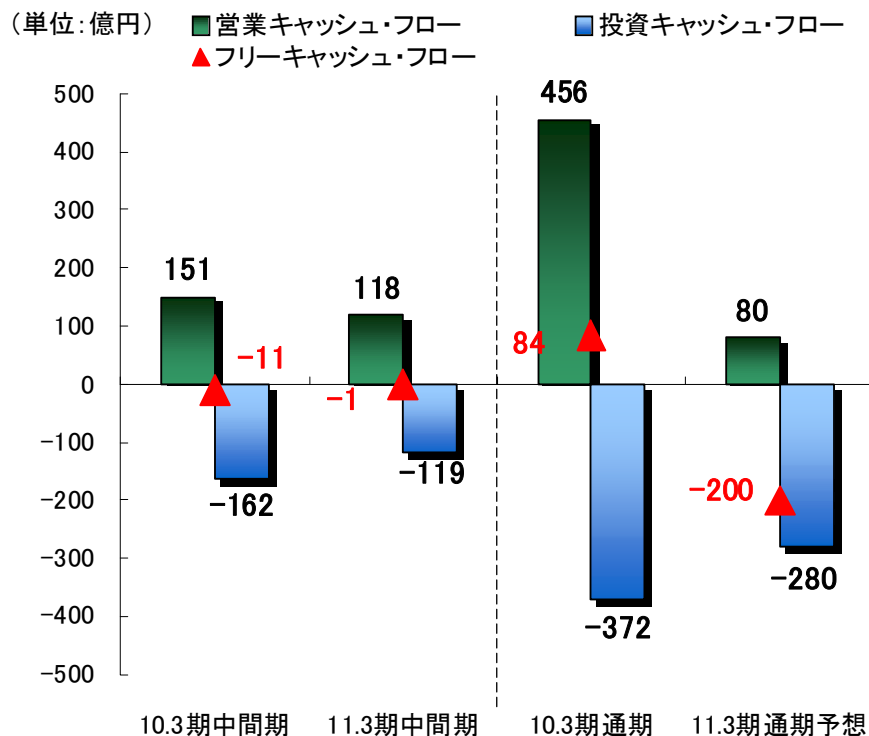
	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
電力・原子力	224	205	197	△ 27	△ 8	458	468	440	△ 18	△ 28
石油精製用圧力容器	151	95	107	△ 44	12	250	260	283	33	23
クラッド鋼板・鋼管	128	50	51	△ 77	1	182	215	200	18	△ 15
風力発電機器	91	80	87	△ 4	7	188	110	110	△ 78	0
その他	29	47	55	26	8	70	85	112	42	27
連結会社他	35	40	44	9	4	71	73	75	4	2
合計売上高	658	517	541	△ 117	24	1,219	1,211	1,220	1	9

(5) 産業機械事業の業績: 製品別売上高

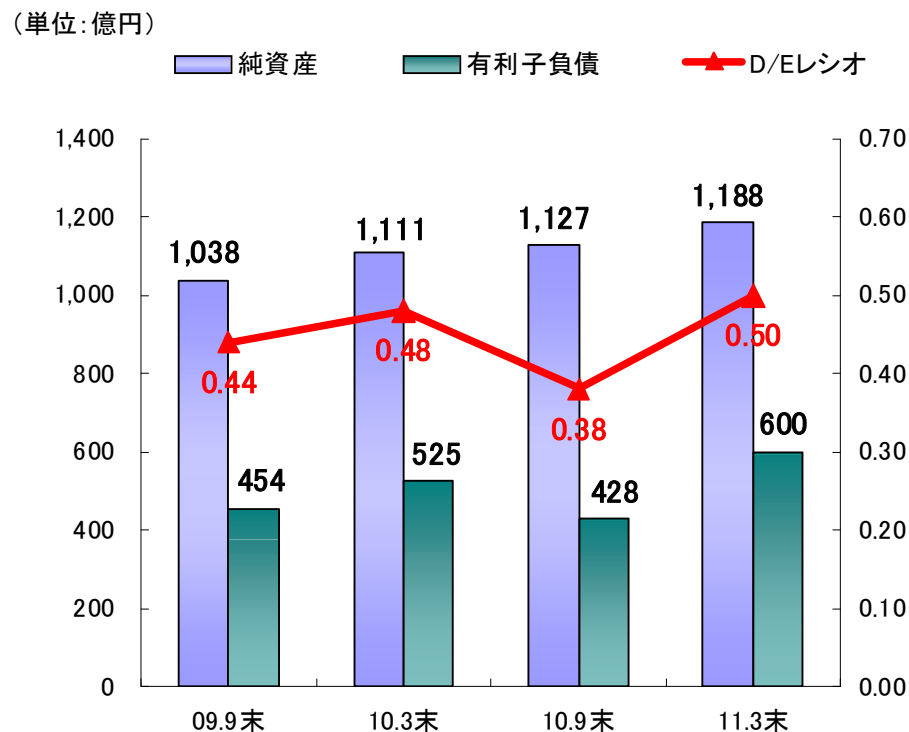
(単位: 億円)

	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
樹脂製造・加工機械	114	75	75	△ 39	0	202	235	260	58	25
成形機	50	90	114	64	24	133	200	250	117	50
その他	113	100	120	7	20	255	232	240	△ 15	8
連結会社他	79	80	115	36	35	183	177	225	42	48
合計売上高	356	345	425	69	80	773	844	975	202	131

(6) 財務体質の状況



- ・ 11.3期通期の営業キャッシュフローは、10.3期の減産から増産に転じることにより、前期比大幅に減少する。
- ・ 11.3期通期の投資キャッシュフローは、大型設備投資に伴い高水準となるが、12.3期以降、投資成果の回収期となる。



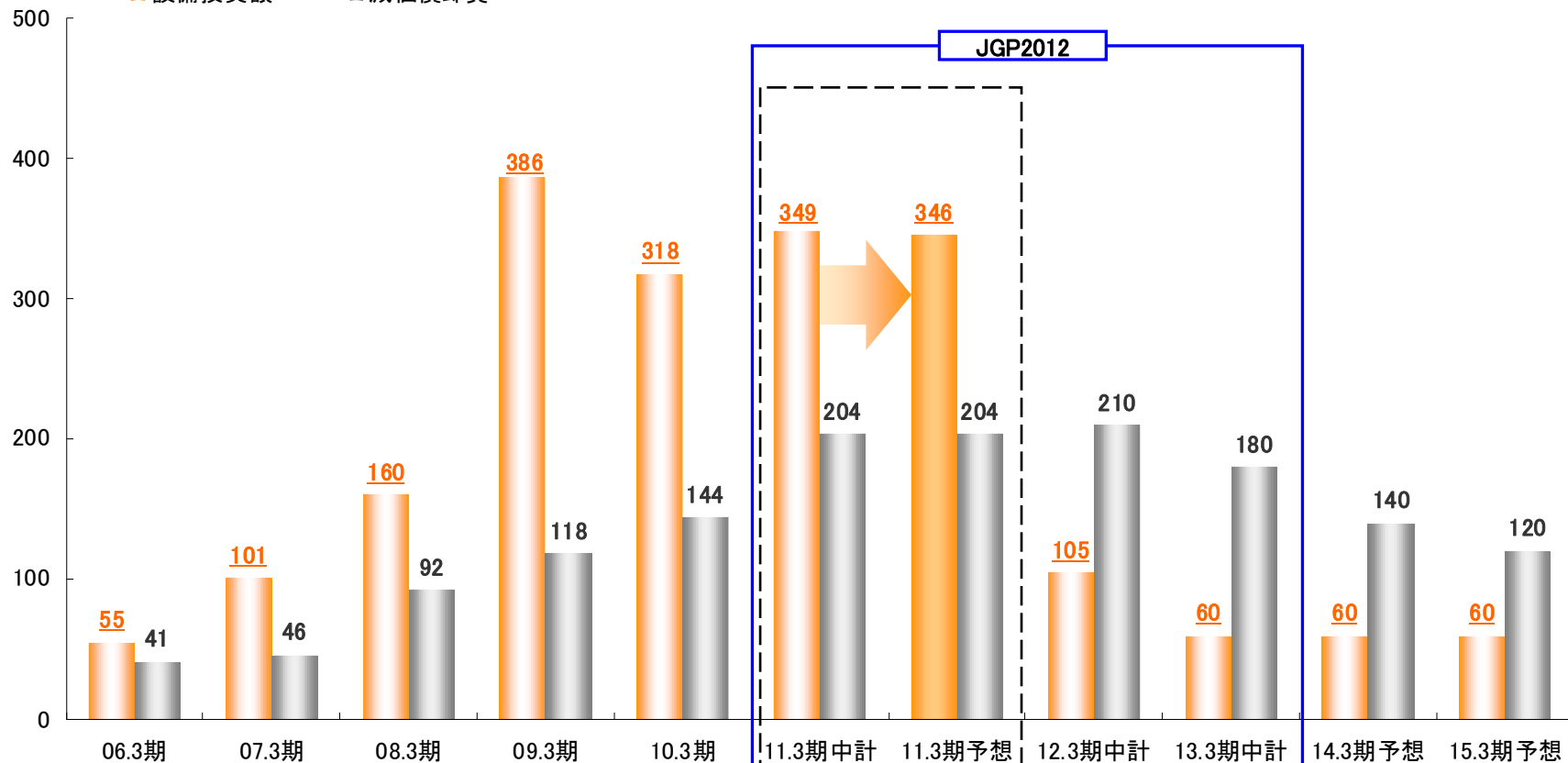
- ・ 普通社債償還により、10年9月末は一時的に有利子負債が減少。
- ・ 下期に借り換えの社債を発行しており、11年3月末では、当初の計画通り、600億円となる予想。

(7) 設備投資・減価償却費の推移

設備投資と減価償却費の推移

(単位: 億円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



	06.3期	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期中計	11.3期予想	12.3期中計	13.3期中計	14.3期予想	15.3期予想
設備投資額	55	101	160	386	318	349	346	105	60	60	60
内、素形材	32	73	119	351	302	326	325				
減価償却費	41	46	92	118	144	204	204	210	180	140	120

(8) セグメント別受注高の状況

(単位:億円)

	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
素形材・ エネルギー事業	437	525	477	40	△ 48	1,233	1,118	1,059	△ 174	△ 59
産業機械事業	327	377	518	191	141	841	978	1,085	244	107
不動産その他事業	12	13	13	1	0	24	24	25	1	1
合計受注高	777	915	1,008	231	93	2,098	2,120	2,169	71	49

11.3期中間期

【素形材・エネルギー事業】

- ・主に石油精製用圧力容器が減少し、当初予想比48億円減の477億円となった。

【産業機械事業】

- ・成形機、樹脂製造・加工機械が大きく増加し、当初予想比141億円増の518億円となった。

11.3期通期予想

【素形材・エネルギー事業】

- ・石油精製用圧力容器の減少により、当初予想比59億円減の1,059億円と予想。なお、前年同期比では、風力発電機器が大幅に減少。

【産業機械事業】

- ・需要回復が顕著な成形機、樹脂製造・加工機械が引き続き好調を維持し、当初予想比107億円増の1,085億円と予想。

(9) 素形材・エネルギー事業の業績：製品別受注高

(単位：億円)

	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
電力・原子力	302	255	237	△ 65	△ 18	585	589	587	2	△ 2
石油精製用圧力容器	4	90	32	28	△ 58	28	120	35	7	△ 85
クラッド鋼板・鋼管	47	90	112	65	22	203	225	244	41	19
風力発電機器	8	5	20	12	15	272	30	35	△ 237	5
その他	38	45	32	△ 6	△ 13	60	81	80	20	△ 1
連結会社他	38	40	44	6	4	85	73	78	△ 7	5
合計受注高	437	525	477	40	△ 48	1,233	1,118	1,059	△ 174	△ 59

(10) 産業機械事業の業績：製品別受注高

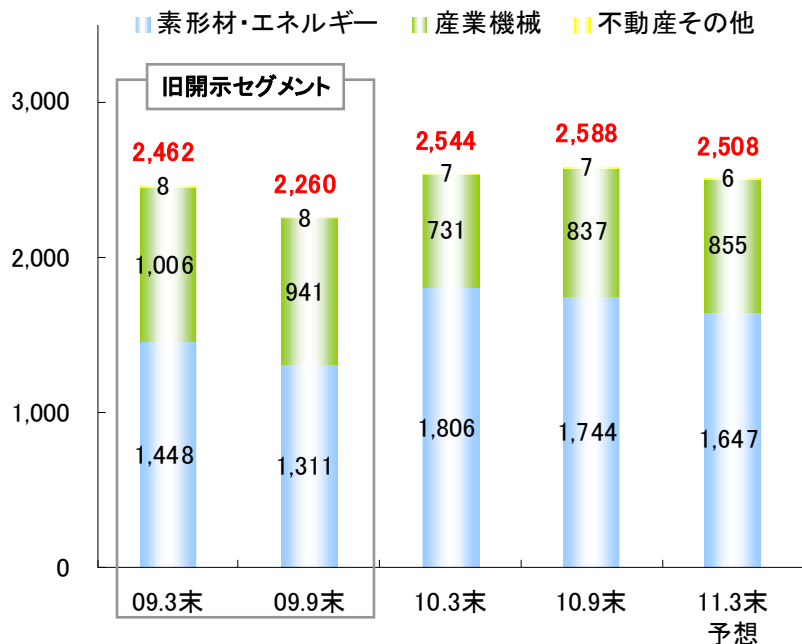
(単位：億円)

	10.3期 中間期 (A)	11.3期中間期		前年 同期比 (C)-(A)	当初 予想比 (C)-(B)	10.3期 通期 (D)	11.3期通期		前年 同期比 (F)-(D)	当初 予想比 (F)-(E)
		当初予想 (B)	実績 (C)				当初予想 (E)	予想 (F)		
樹脂製造・加工機械	103	140	160	57	20	267	280	300	33	20
成形機	58	90	147	89	57	155	220	275	120	55
その他	105	88	121	16	33	275	300	273	△ 2	△ 27
連結会社他	61	59	90	29	31	144	178	237	93	59
合計受注高	327	377	518	191	141	841	978	1,085	244	107

(11) セグメント別受注残高の状況

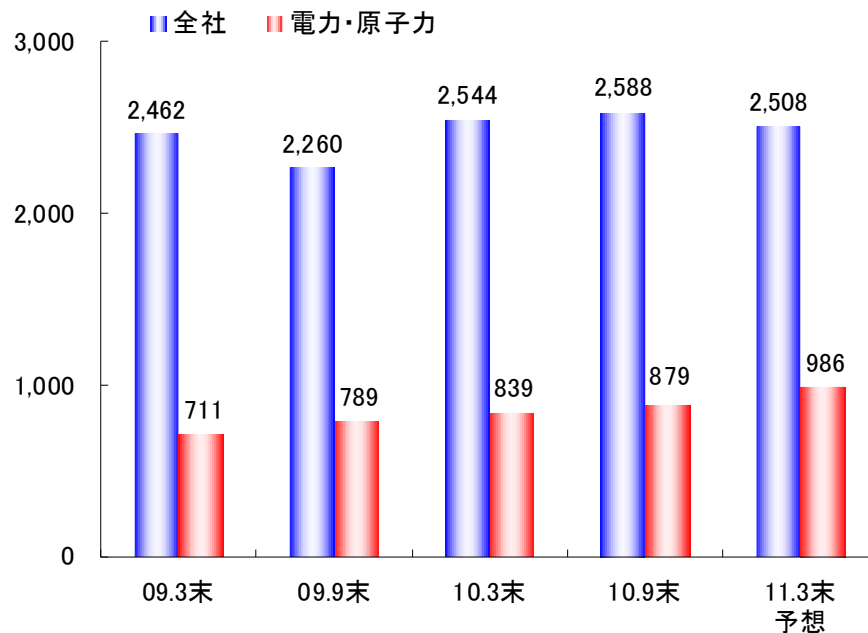
セグメント別受注残高の推移

(単位:億円)



全社に占める電力・原子力製品受注残の推移

(単位:億円)



【概況】

- ・ 10年9月末の受注残は、産業機械事業における受注の大幅な増加により、更に積み上がった。11年3月末では、産業機械事業は更に増加するものの、素形材・エネルギー事業の減少により、80億円減少する。

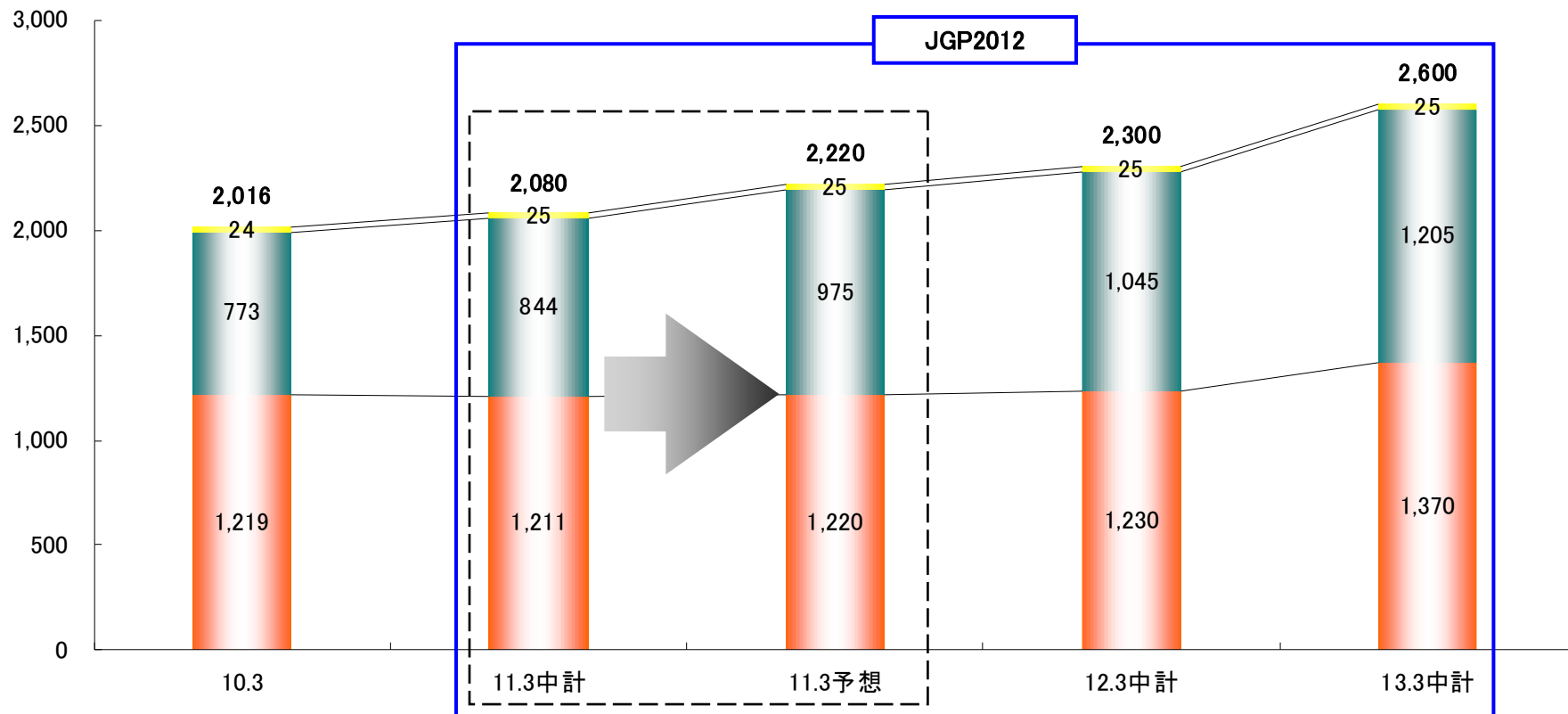
【電力・原子力製品】

- ・ 堅調な受注環境を背景に、順調に積み上がる。

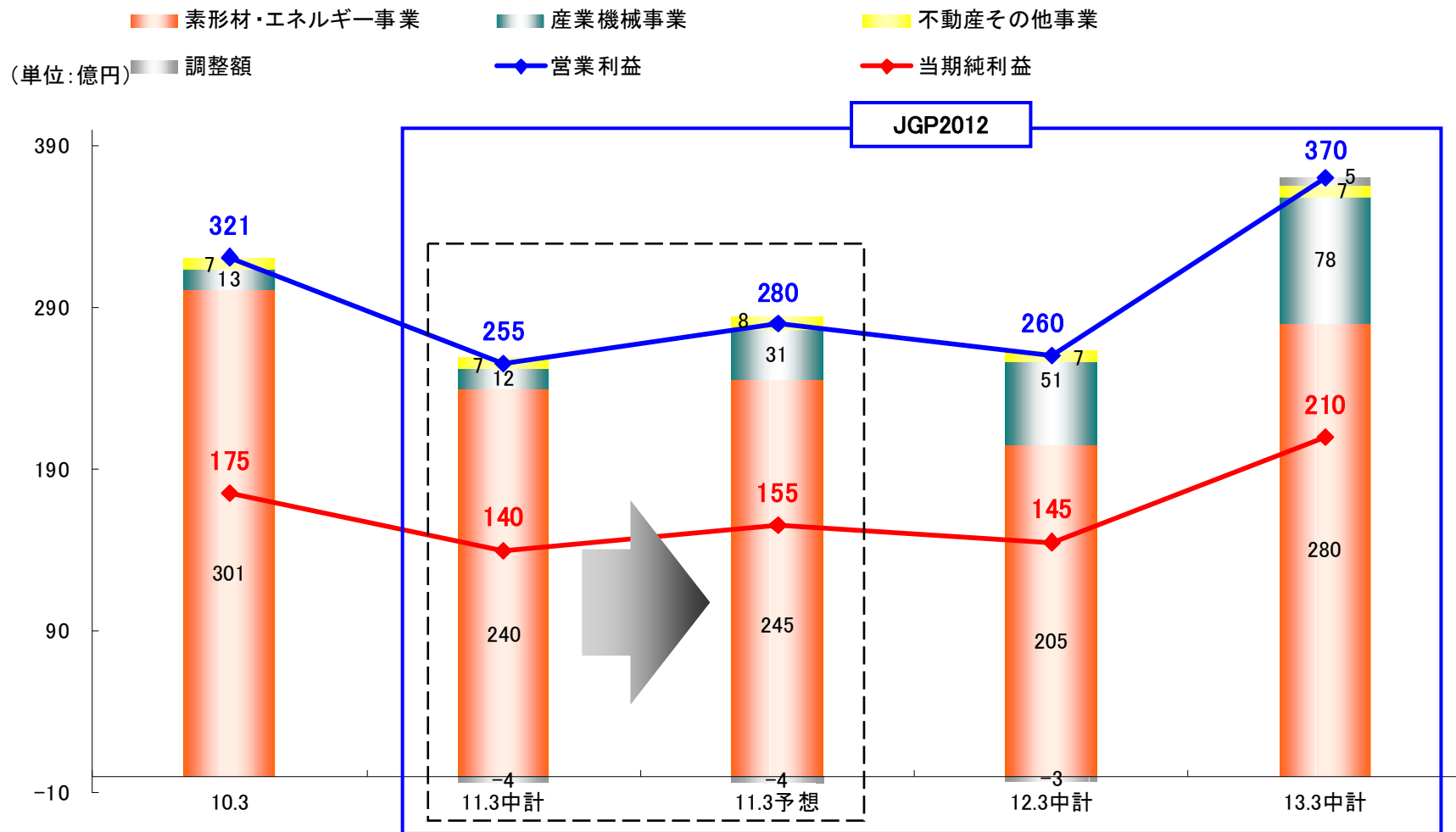
(12) 中計期間中の売上高推移

(単位: 億円)

■ 素形材・エネルギー事業 ■ 産業機械事業 ■ 不動産その他事業



(13) 中計期間中の営業利益・当期純利益推移



(14) 更なる成長へ

素形材・エネルギー事業

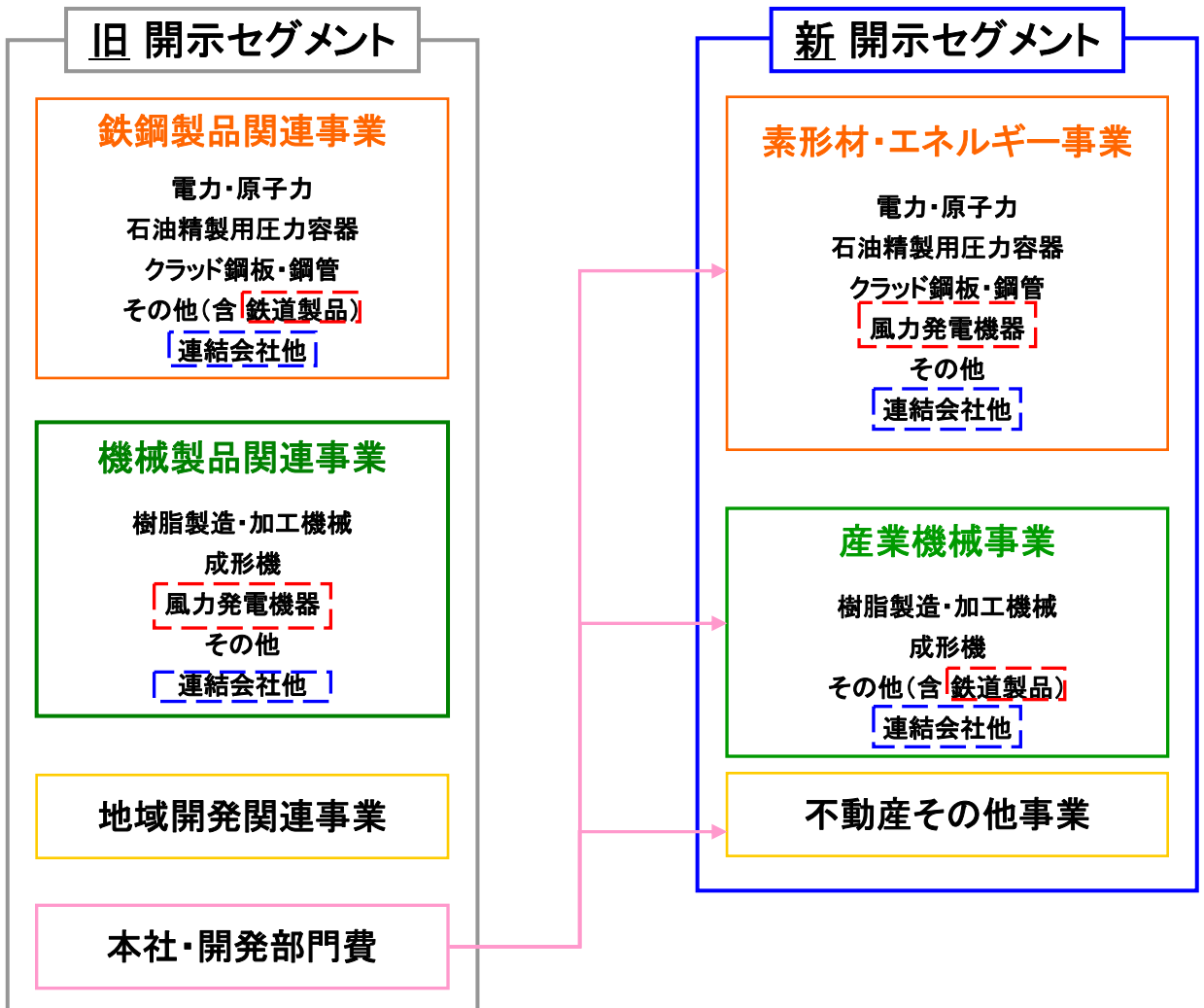
電力・原子力製品の更なる伸張に注力、
設備投資効果を最大限に発揮し、回復拡大へ

産業機械事業

製品差別化とコスト競争力強化を同時進行、拡大持続へ

中期経営計画の達成を目指す

参考 セグメント変更の概要



- ・ 2011年3月期より、従来の区分から、経営管理上の区分に変更
- ・ 本社部門、開発部門の費用も各セグメントへ配分

参考 事業部門の構成と製品

事業セグメント	素形材・エネルギー事業		産業機械事業			不動産 その他事業				
製品事業部	鉄鋼事業部		機械事業部	成形機器 システム事業部	特機本部	地域開発 事業部				
生産拠点	室蘭製作所 		広島製作所 		横浜製作所 					
製品	<p>【鍛造鋼製品】 ○電力・原子力</p>  <p>○その他 ・製鉄用鉄鋼ロール ・金型用鋼</p> <p>【鋼板・鉄構製品】 ○石油精製用圧力容器</p>  <p>○クラッド鋼板・鋼管</p>  <p>【風力発電機器】</p> 		<p>【樹脂機械】 ○樹脂製造・加工機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造粒機 ・フィルムシート装置 ・二軸混練押出機 (TEX)  <p>○成形機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック射出成形機 ・中空成形機  <p>【その他機械】 ○軽合金射出成形機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネシウム合金射出成形機 ・アルミダイカスト機  <p>○防衛関連機器</p> <p>○圧縮機</p> <p>○鉄道製品</p> <p>○IT関連機器 (レーザアニール装置等)</p> 			○社有地 有効活用				
市場	電力・鉄鋼		石油・天然ガス	自然エネルギー	石油化学	産業機械	自動車	IT	防衛	不動産賃貸

JSW 日本製鋼所
